

# 常陸大宮市 平成17年度予算

豊かな自然と調和した  
安心・快適な活力のあるまちづくりを目指して

平成17年度の常陸大宮市の予算が、3月の常陸大宮市議会定例会で可決されましたので、一般会計を中心にその内容をお知らせします。

平成17年度予算は、平成16年10月16日に誕生した常陸大宮市の合併後、はじめての年間を通した本格的な予算編成となりました。

一般会計予算総額は、256億5千万円で、前年度の旧5町村の予算総額に比べ8・4%の増となりました。また、一般会計のほかに11の特別会計と上水道事業の企業会計を設置しており、特別会計の予算総額

は、156億7121万8千円、上水道事業は、収益的支出と資本的支出の合計額で1億1081万2千円となっています。

平成17年度の常陸大宮市の総予算規模としては、424億3203万円となりました。

本市の財政状況は、歳入では、市民税、利子割交付金、ゴルフ場利用税等において実質的に減収が見込ま

れるとともに、地方交付税についても大きな伸びは期待できず、一般財源は十分な確保ができない状況にあります。また歳出では、公債費や生活保護事務移譲に伴う扶助費等の増大により、極めて厳しい予算編成となりましたが、事務事業の厳選と経常経費の徹底した見直しを行い、山積する行政課題、多様化する住民要望に対応していくため、国、県補助金や合併特例債等の活用により諸施策実現のための財源を確保し、予算編成を行いました。

平成17年度の主な事業については、新市建設計画の将来像を実現するため、次の6項目のまちづくりの方針

- 1 健やかに安心して暮らせるまちづくり
  - 2 豊かな自然と調和した住みよいまちづくり
  - 3 人に優しく安全で快適なまちづくり
  - 4 活力にあふれ安定して働けるまちづくり
  - 5 個性と文化を育むふれあいのまちづくり
  - 6 協働のまちづくり
- に沿って、各種事業の優先度、緊急度を考慮しながら事業の推進を図ります。

## 健やかに安心して暮らせる まちづくり

地域医療の核として高度医療及び救急医療体制の整備を図るため、平成16年度より事業に着手している（仮称）県北西部地域中核病院については、引き続き合併特例事業債を活用し、本年度末の完成に向けて事業の推進を図ります。

さらに、地域子育て支援センターによる子育て支援の推進、高齢者福祉タクシー事業、市民が一体となって健康づくり運動を総合的かつ効果的に推進するための健康常陸大宮21策定事業など、互いに助け合い支え合う住民主体の地域福祉を推進するとともに、高齢者や障害者の福祉施策の充実、子育て支援施策の強化拡充を図ります。



▲（仮称）県北西部地域中核病院の建設現場  
— 4月上旬 —

**豊かな自然と調和した住みよ  
いまちづくり**

住民の生活交通を確保するため、新たに市内循環交通システム基本計画策定経費を計上し、市内を循環するコミュニティバス等の交通システムを構築するとともに市内移動の利便性の向上を図ります。

住民に最も身近な生活道路については、安全で快適な生活を確保するため市道の整備を計画的に推進します。

また、高度情報化社会に対応した情報基盤の整備を推進するため、地域情報化計画を策定し、誰もが情報通信機器を利用できる環境整備と総合的な情報通信システムの構築を図ります。

**人に優しく安全で快適な  
まちづくり**

生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、地域の特性に応じて公共下水道、農業集落排水事業の推進や合併処理浄化槽の整備、普及に努めるとともに、環境への負荷の少ないエネルギー利用を促進するための住宅用太陽光発電システム設置助成やごみの減量化及びリサイクル運動を推進し、環境保全、廃棄物処理対策に努めます。

消防・防災体制の整備については、

市内全域の防災活動を総合的かつ計画的に実施するため、地域防災計画策定事業や市内全域へ迅速な防災情報の提供をするための防災行政無線整備事業、さらに機動的で効果的な消防体制を充実させるため、常備消防の強化や防火水槽、小型動力ポンプ付積載車などの施設・設備の整備、消防団組織、防災通信体制の拡充を図ります。

**活力にあふれ安定して働ける  
まちづくり**

農地の流動化による農家規模の拡大や生産性の高い優良農地の保全を推進するとともに、Uターン農業者への支援、相談などを通し安定的な農業経営の推進を図ります。

地域のコミュニティ活動の拠点施設として、新田園空間実践活動事業による地区集会施設整備事業や県単土地改良事業及び基盤整備促進事業での農道の整備を実施します。

また、森林の持つ公益的機能を維持、増進するため計画的な林道及び作業道の開設、林業の再生を図るため、森林整備地域活動支援交付金などの補助制度や遠赤外線くん煙乾燥による間伐材の有効活用と高付加価値販売を促進するための森林資源利活用促進事業を実施します。さらに、木造住宅建設助成金や豊かな森

林資源の保全、活用を目的とする「豊かな自然と調和したまちづくり基金」を創設し、森林活用施策を展開します。



**個性と文化を育むふれあいの  
まちづくり**

国際感覚を身につけるため中学生海外派遣事業や小学6年生を対象とした宿泊体験事業「ふれあいの船」を実施するほか、児童数の減少により複式化が懸念される小学校への学校教育指導員配置や市内小学生と秋田県大館市小学生との友好交流事業を実施します。教育環境の充実を図るため、御前山統合小学校整備事業、山方中学校体育館整備事業や年次的に行う各小中学校図書室への空調システムの整備を実施します。

また、市の体育協会の充実、強化と地区体育祭への助成を行うとともに緒川総合運動公園建設事業を実施し、生涯スポーツの普及、推進を図ります。

**協働のまちづくり**

住民の自主的、自立的なまちづくりを推進するため、広報紙等による情報提供や地域審議会の開催など住民と行政の協働のまちづくりを実現するため、適切な連携体制を構築し、一層の住民参加を推進します。

さらに、各地域で行われるイベント等の支援や男女共同参画社会の推進を図るため、男女共同参画プラン策定事業を実施します。

